



第5回常任理事会

日時 平成21年6月9日（火）18：00～20：15
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・小山・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、中村・大口各監事
(事務局：島影事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 認知症対策検討委員会委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

前川常任理事を推薦することと決定。

第2号 メンタルヘルス対策支援センター「地域メンタルヘルス対策推進特別アドバイザー」の就任に関する件（深澤常任理事）

小山常任理事を推薦することと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座51件、道医認定生涯教育講座46件、合計97件を承認することと決定。

第4号 第1回郡市医師会長協議会[6月20日（土）]の議題に関する件（深澤常任理事）

6月20日（土）午後4時から札幌グランドホテルで開催する標記会議の提出議題を決定。

報告事項

1. 都道府県医師会「公益法人制度改革」担当理事連絡協議会[5月28日（木）]について

(深澤常任理事)

唐澤会長から挨拶の後、手塚弁護士（日医参与）より新公益法人制度に対応した定款変更案につき解説の後、各都道府県医師会からの質疑応答と日医の今後の作業予定等について報告があった。日医の現状としては、内閣府事務局と定款変更案につき調整している段階であり、具体的な新公益法人制度に係る申請時期は未定であるが、公益社団法人を目指し取り組んでいるとのことであった。また都道府県医師会や郡市区医師会を対象とした、都道府県医師会等が主催する形の新公益法人制度説明会や、新公益

法人制度への対応（財務面）に関する日医総研モデル研究事業を計画しているとの説明があった。

2. 日本医師会女性医師支援センター・シンポジウム[5月30日（土）]について（藤井常任理事）

厚生労働省医政局・外局長が基調講演を行い、その後「女性医師の勤務環境の現況調査に関する調査結果」の報告、6名によるシンポジウムが行われた。総合討論では女性医師に限らず、医師全体の勤務環境整備を求める意見が数多くあった。参加者は248名であった。

3. 第1回産業保健活動推進委員会および同小委員会[6月2日（火）]について（小山常任理事）

産業保健活動推進委員会では、委員長に小職が、副委員長に日黒常任理事が互選された後、平成21年度産業保健研修会の日程および講師の人選、日医産業保健委員会の諮問等について協議した。また、引き続き行われた同小委員会では、かかりつけ医等と専門医の連携体制に関して、今後に向けた取組みにつき検討した。

4. 緊急臨時的医師派遣事業第3回運営委員会[6月2日（火）]について（宮本副会長）

延長申請4件と新たに派遣申請のあった4医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。

5. 第1回医業経営・福利厚生事業等検討委員会[6月6日（土）]について（水谷常任理事）

保険業法の改正により、北海道医師会会員共済制度を現行のまま継続することはできなくなった。公益法人制度改革により、北海道医師会として一般社団法人あるいは公益社団法人のいずれかを選択する前に、本制度の存廃について決定しなければならないため、本年度3回検討することとした。

6. 北海道教育委員会と北海道医師会との意見交換会[6月8日（月）]について（三戸常任理事）

長瀬会長、高橋教育長からの挨拶の後、和田学校安全・健康課長より「新型インフルエンザへの対応について」、小山常任理事より「教職員のメンタルヘルスと子どもの心の問題について」をテーマに説明があり、引き続き意見交換を行った。

7. 日医各委員会報告

(1) 健康スポーツ医学委員会[5月28日（木）]について（榊山常任理事）

会長の諮問事項に関してディスカッションした後、1) 第22回（平成21年度）健康スポーツ医学講習会の開催要領について、2) 新カリキュラム案に対する一般目標・教育目標について、3) 運動療法処方せん作成マニュアルの改訂等について協議した。

(2) 医療IT委員会[5月28日（木）]について

(水谷常任理事)

標記委員会には、昨年度まで藤原常任理事が委員として参画していたが、今年度から小職が委員として出席することとなった。会議では、

中川常任理事の近況報告に続いて議事に入り、「社会保障カード（仮称）」をテーマに、東大大学院・大江和彦教授と東大大学院・山本隆一准教授の講演がなされ、活発な意見交換がなされた。

(3) **社会保険診療報酬検討委員会[6月3日（水）]**
について（藤原常任理事）

冒頭、中川・藤原両常任理事より、「財政制度審議会」「中医協」等に関して中央情勢報告がなされた。続いて、日医が本年5月末に各医師会あてに発出した「レセプトオンライン請求義務化への対応方針」に関して、藤原常任理事が改めて説明を行った。また、外来管理加算の見直しについてフリーディスカッションした。協議事項では、当委員会諮問事項2の「現在の診療報酬における問題点とその対応」について討議した。

(4) **母体保護法等に関する検討委員会[6月4日（木）]**
について（深澤常任理事）

厚生労働省が6月3日に公表した妊婦健診の公費負担の状況についての調査結果を宮崎母子保健課長から説明を受けた。公費負担回数14回未満の市区町村は全国的には4道府県で25件で、うち本道は1件である。また、厚生労働省の分娩費用等の実態調査分析を行った研究班資料が提示され、分娩入院費用の全国平均は423,957円で、本道は381,585円と下回る。次に、従来、母体保護法第14条第1項には「都道府県の区域を単位として設立された社団法人たる医師会の指定する医師…」と規定され、都道府県行政から母体保護指定医師の審査を委託されていたが、平成18年6月2日法改正され、「公益社団法人たる医師会」と改められ、さらに、公益法人制度改革三法が施行されたことに伴い、今後の取り扱いに関して厚生労働省と打ち合わせているとの説明を受けた。

(5) **学校保健委員会[6月5日（金）]**
について（三戸常任理事）

高山文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課専門官より、学校保健の中央情勢として平成21年度の学校保健関係予算や、昨年度における「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」の実績等について報告された。その後、新型インフルエンザに関して意見交換を行った。また、会長の諮問事項に関してディスカッションした。

8. **各部報告**

(1) **第1回医療政策部担当理事会[5月26日（火）]**
について（直江常任理事）

21年度事業として、「第2回地域医療に関する調査」の実施、医政講演会、政経問題懇話会、第1回医療政策等検討委員会、北海道医師会・北海道保健福祉部懇談会、日本の医療を守る道民

協議会第8回総会などの開催日程・講師等、常任理事懇談会の今後の進め方などにつき協議した。また、平成21年度厚生労働省補正予算で浮上した「地域医療再生計画」について説明した。

(2) **「特区、地域再生、規制改革集中受付」**
について（直江常任理事）

6月が受付月間であることから、郡市・医育機関医師会に情報提供を呼びかけていることについて報告した。

第6回常任理事会

日 時 平成21年6月23日（火）18:00～19:24
場 所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口各監事

（事務局：武藤事務局次長ほか11名）

協議事項

第1号 母体保護法医師指定に関する件

（深澤常任理事）

6月17日の審査委員会で指定「可」とされた新規2名、再審6名、施設変更1件の申請を委員会決定の通り「可」とすることに決定。

第2号 北海道医療対策協議会自治体病院等広域化検討分科会参加者の推薦に関する件

（深澤常任理事）

宮本副会長を推薦することに決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座37件、道医認定生涯教育講座30件、合計67件を承認することに決定。

第4号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（小山常任理事）

認定要件を満たした更新88名の申請を承認。日医へ推薦することに決定。

第5号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（小山常任理事）

認定要件を満たした更新2名の申請を承認。日医へ推薦することに決定。

第6号 その他

(1) 7月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

1. **第12回日本臨床救急医学会総会・学術集会[6月11日（木）～12日（金）・大阪市]**
について

（目黒常任理事）

市立堺病院副院長・横田順一朗先生が学会長となり「刻一刻の多様性に挑む」をメインテーマに開催された。会長講演、特別講演、特別討論会、特別企

画、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション、一般演題等が行われ、約1,740名の参加があった。

なお、第13回は平成22年5月31日（月）～6月1日（火）に幕張メッセ（千葉市）で開催される。

2. 第11回日本医療マネジメント学会学術総会[6月12日（金）～13日（土）・長崎市]について

（橋本常任理事）

長崎ブリックホールで開催された。国立病院機構長崎医療センター長・米倉正大会長の挨拶、宮崎久義理事長の基調講演、李啓允氏から「米国P4P（ペイフォアパフォーマンス）の現状と問題点について」と題した招待講演が行われ、812の提出演題について各担当者から、実践に基づいた報告があった。来年度の第12回総会は、札幌市コンベンションセンターで開催予定。

3. 第1回都道府県医師会長協議会[6月16日（火）]について（畑副会長）

都道府県医師会から提出のあった12題と、日医から提出の3題、あわせて15題の事項について協議が行われた。

4. 日医生涯教育協力講座セミナー「生活習慣病診療のUp to Date」[6月20日（土）]について

（渡邊常任理事）

午後2時から午後5時まで、札幌パークホテルで開催した。テーマは「実地医家が知っておきたい生活習慣病診療のコツ」で参加者は181名。長瀬会長より開会の挨拶が行われた後、世話人である北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学・筒井裕之教授が座長となり、国立病院機構九州医療センター高血圧内科・土橋卓也科長から「高血圧診療のコツ」、また川崎医科大学内科学・柏原直樹教授から「CKD診療のポイント」について各々基調講演が行われた。その後「糖尿病・脂質異常症診療のコツ」をテーマに5人のパネリストより各々講演があり、引き続きパネルディスカッションが行われた。

5. 第1回学校保健推進委員会・第1回母子保健対策推進委員会・第1回学校心臓検診推進委員会[6月21日（日）]について（三戸常任理事）

学校保健推進委員会では、委員長に小職が、副委員長に直江常任理事が選出された後、最近の学校保健をめぐる動向として、学校健診のあり方等について各地域の現状を伺った。また、母子保健対策推進委員会では、委員長に小職が、副委員長に穴倉委員（道保育園保健協議会会長）が互選された後、最近の母子保健をめぐる動向として、日医母子保健検討委員会の検討経過や平成20年度の児童相談所等における児童虐待相談処理状況等を説明し、意見交換をした。午後からの学校心臓検診推進委員会では、委員長に小職が、副委員長に濱田委員（道小児循環器研究会）が互選された後、北海道学校保健会が委託事業として実施している学校心臓検診について、平

成21年度の進捗状況等の報告があり、了承された。

6. 日医各委員会報告

(1) 救急災害医療対策委員会[6月3日（水）]について（目黒常任理事）

本委員会の中に災害医療に焦点を当てて検討を行う「災害医療小委員会（仮称）」を設置することとなり、委員は小林委員長に一任された。その後、諮問に関する討議を行った。なお、小職より本道の2007年度ドクターヘリ運航実績報告書を提出し、概要を説明した。

(2) 勤務医委員会[6月12日（金）]について

（三宅副会長）

会長諮問の「医師の不足、偏在の是正を図るための方策－勤務医の労働環境（過重労働）を改善するために－」について、答申作成に向け目次および執筆者を決定した。

(3) 地域医療対策委員会[6月12日（金）]について（直江常任理事）

会長諮問事項である「地域社会の医療ニーズと医療提供体制の在り方」に関して、都道府県医療審議会・地域医療対策協議会の役割、医療圏、医師確保対策等について討議した。北海道の状況については、小職が資料を示して説明を行った。

7. 外部各委員会報告

(1) 発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業第1回広域特別支援連携協議会[6月12日（金）]について（前川常任理事）

委員長・副委員長を選出した後、平成17年度から進められている発達障害児（幼稚園、小・中・高校）への個別性の高い教育支援の取り組みの現状と、それぞれの現場での問題点等について報告があった。また、研修などを含めた関係機関の連携体制のシステム構築や地域ネットワーク計画、発達障害児の増加に関するアンケート調査計画について協議した。

8. 各部報告

(1) 第2回総務部・財務部合同担当理事会[6月15日（月）]について（深澤常任理事）

医育ブロック会議を、例年どおり北海道医師会賞受賞者選定委員会の終了後に開催する。また、今年度末の廃止が決定している社保対処費特別会計については、積立金の取扱い等を検討するため社保対処費検討委員会を開催する。なお、昨今一般会計が単年度収支で赤字になり、会費や負担金についての整理や見直しをする必要があるため、今後、会費減免や定率割会費等について検討することとした。

(2) 北海道議会自民党議員・北海道医師会 勉強会（第1回）[6月17日（水）]について

（直江常任理事）

北海道議会自民党議員有志と、長瀬会長をは

じめ医療政策部担当理事により、「日本の医療の現状と北海道」というテーマで勉強会を行った。

(3) 第1回郡市医師会長協議会[6月20日(土)]における決議について(直江常任理事)

地域医療が崩壊している現状を省みず、なお「骨太の方針2009」原案に社会保障費の自然増2,200億円の削減が明記されたことの撤回を求め、決議を行った。決議文は即日、麻生総理大臣をはじめ、関係閣僚、北海道選出国会議員など261カ所に送付した。

9. その他

(1) 第5回男女共同参画フォーラム[7月25日(土)・札幌市]について(藤井常任理事)

現在の申込み状況について確認し、今後とも参加要請を積極的に行うこととした。

(2) ウイルス性肝炎進行防止対策医療給付事業実施要綱の一部改正について(三戸常任理事)

本事業については、経過措置の期間が終了したことにより、平成21年7月から実施要綱の一部(課税世帯の入院時における自己負担限度額)が改正となり、本年10月診療分から適用される。

道総医協関連事項(三宅副会長)

1. 第1回運営委員会[6月22日(月)]について

(三宅副会長)

委員の互選により、委員長に小職が、副委員長に北海道歯科医師会・藤森副会長が選出された。平成20年度各専門委員会の協議状況の報告および21年協議予定(案)、第43回総会、各専門委員会の開催などについて協議し、了承された。

道医の動き

- 6月11日 日本臨床救急医学会総会・学術集会(～12日、大阪市、目黒常任理事)
- 6月12日 日医勤務医委員会(三宅副会長)、日医地域医療対策委員会(直江常任理事)、日本医療マネジメント学会学術総会(～13日、長崎市、橋本常任理事)
- 6月13日 2009世界禁煙デー記念講演会(長瀬会長、藤井常任理事)
- 6月15日 総務部・財務部合同担当理事会
- 6月16日 日医理事会(長瀬会長)、都道府県医師会長協議会(長瀬会長、畑副会長)
- 6月17日 母体保護法指定医師審査委員会、道議会自民党議員との勉強会、日医有床診療所に関する検討委員会(沖理事)
- 6月18日 「地域医療を考える市民の集い」(仮称)打合せ会(函館市、目黒常任理事)、日医国民生活安全対策委員会(増田理事)
- 6月19日 日医病院委員会(直江常任理事)
- 6月20日 郡市医師会長協議会、日医生涯教育協力講座セミナー
- 6月21日 学校保健推進委員会、母子保健対策推

- 進委員会、学校心臓検診推進委員会
- 6月22日 三役会
- 6月23日 第6回常任理事会
- 6月24日 道厚生局との打合せ
- 6月25日 高等学校進路指導担当教員等説明会(深川市、北野常任理事)
- 6月28日 北海道ドクターズゴルフ大会(室蘭GC白鳥コース)
- 7月 1日 緊急臨時的医師派遣事業運営委員会、日医男女共同参画委員会(藤井常任理事)
- 7月 2日 地区別事務懇談会(～3日)、日医母子保健検討委員会(津田理事)
- 7月 3日 日医医療関係者対策委員会(北野常任理事)
- 7月 4日 群馬県医師会との交流会
- 7月 5日 医療関連事業部担当理事会、医師会立准看護学校連絡協議会
- 7月 6日 支払基金との懇談
- 7月 8日 北海道看護協会との懇談会、日医生涯教育推進委員会(渡邊常任理事)、日医労災・自賠責委員会(目黒常任理事)
- 7月 9日 医業経営講習会(釧路市、水谷常任理事)、日医産業保健委員会(小山常任理事)
- 7月10日 日医代議員会議事運営委員会(宮本副会長)、日医医事法関係検討委員会(橋本常任理事)